様式3

令和４年度　「フードテック等を活用した」

乳製品に関する微細構造解明プロジェクト研究計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 当該年度の研究事業予定期間 | 採択日（予定）　　　～　　　令和5年3月31日 |
| 研究代表者氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属研究機関 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  | ＦＡＸ |  |
| E-mail |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 経理担当者氏名 |  | 経理担当部局名・連絡先等 | 部局名：電話番号：E-mail： |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究分担者氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 所属研究機関 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  | ＦＡＸ |  |
| E-mail |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 事務担当者氏名 | ＊北大研究者の場合は記入不要 | 事務担当部局名・連絡先等 | 部局名：電話番号：E-mail： |
| 経理担当者氏名 |  | 経理担当部局名・連絡先等 | 部局名：電話番号：E-mail： |
| 分担先機関及び研究所要経費 | 機関名（研究代表者及び分担者名） | 当該年度研究所要経費（単位：千円） |
| 申請機関 | （　　　　　　　） |  |
| 分担先機関 | （　　　　　　　） |  |
| 計 |  |

＜作成上の留意事項＞

１．本研究計画書は、申請課題の採択の可否等を決定するための評価に使用されます。

２．「研究課題名」について

　・研究の目的と成果が分かる課題名にしてください。

３．「当該年度の研究事業予定期間」について

　・研究事業予定期間は単年度となります。研究事業の終了する「月日」は、3月31日までとなります。

　・北海道大学以外の機関は、研究終了日が契約により14日程度、前倒しされる可能性があります。

４．「研究代表者氏名」～「事務及び経理担当部局名・連絡先等」について

　・「所属研究機関」及び「部局」は、研究代表者が勤務する研究機関及び部局の正式名称を記入してください。

・帯広畜産大学、北見工業大学、室蘭工業大学、酪農学園大学、産業技術総合研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、北海道立総合研究機構が分担者として参画する場合、北海道大学との事務連絡を速やかに行うことができ、また、常に分担者と連絡をとることができる同じ機関に所属する担当者を指定してください。

５．「研究分担者氏名」～「事務及び経理担当部局名・連絡先等」について

　・研究分担者の人数に応じて、適宜記入欄を追加してください。

　・北海道大学の研究者が分担者となる場合は、事務担当者に関しては、記入不要です。

６．「分担先機関及び研究所要経費」について

　・分担先機関が複数ある場合、適宜記入欄を追加してください。

７．公募は、北海道大学が実施している令和3年度 持続可能社会の実現に向けた世界トップレベル研究推進・社会実装」のうち「ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点構想」から研究経費を支出するため、外部機関（帯広畜産大学、北見工業大学、室蘭工業大学、酪農学園大学、農業・食品産業技術総合研究機構、産業技術総合研究所、北海道立総合研究機構）が分担者となる場合は、国立大学法人 北海道大学と該当機関との間で研究委託契約を締結し、その契約の範囲内において該当機関が研究経費を執行することになります。

また、事業終了後、締結した研究委託契約に基づき実績報告書等（報告書・収支簿・証拠書類などを含む）を遅滞なく国立大学法人北海道大学へ提出するものとします。

８．各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えありません。

**ロバスト拠点との関係、プロジェクトに関する研究経歴の確認**

研究代表者が下記の（１～４）に該当するものに「○」を記載し（番号の前に「○」を記載してください）、それぞれの項目に記載されている必要事項に回答してください。

＿＿１．平成30年度から令和3年度「ロバスト農林水産工学研究プログラム」に採択された研究者（研究代表者、研究経費の配分を受けた分担当者）でかつ、その成果から展開した研究課題であるか。

　　　採択年度：　　採択課題名：

＿＿２．過去3年間に「イノベーション創出強化研究推進事業」に研究代表者としての応募の実績があり、その提案課題に関連した研究課題であるか。

　　　応募年度：　　提案課題名：

　　　研究概要（簡単に）：

＿＿３．「知」の集積と活用の場　産学官連携協議会　ポスターセッションに研究開発プラットフォーム「ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム」又は、アグリビジネス創出フェア（農林水産省主催）に北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点からの展示として出展した実績があり、それに関連した研究課題であるか。

　　　出展年度：　　出展イベント名：

　　　展示内容（簡単に）：

＿＿４．企業や外部の大学、研究機関等とのマッチング・交渉について、ロバスト拠点が仲介して対応した実績がある研究者又は、ロバスト拠点に研究相談を受けた実績がある研究者であり、そのマッチング・交渉内容、研究相談内容に関連した研究課題であるか。

マッチング・交渉内容、研究相談を行った年度：

　マッチング・交渉内容、研究相談（簡単に）：

**１【研究課題のポイント】**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 背景・目的
 |  |
| 提案する研究の背景・目的について、関連するSDGsについて、簡潔に200文字で記載してください。※1 |

|  |  |
| --- | --- |
| ②　研究の目標 |  |
| 本研究期間終了時に目標としている技術・成果を、簡潔に200文字で記載してください。※1 |

|  |  |
| --- | --- |
| ③　研究の概要 |  |
| 「②研究の目標」に到達するため、本研究課題で行おうとしている研究の概要について、簡潔に200文字で記載してください。※1 |

|  |  |
| --- | --- |
| ④　関連する既往の研究成果 |  |
| 本研究課題に関連する既往の研究成果を、簡潔に200文字で記載してください。※1 |

|  |  |
| --- | --- |
| ⑤　本研究により想定される実用化の成果、社会課題解決 |  |
| 本研究により想定される実用化の成果や社会課題解決を、簡潔に200文字で記載してください。※1 |

**※1　本項目に記載した内容は、採択後に公表する場合があります。**

**２．【研究課題内容と計画・方法】**

以下の「２－１」～「２－５」について、「募集要項」に記載されている事業概要や審査基準の記載内容を踏まえて記述し、かつ、その内容についてパワーポイントを使って、各項目2枚以内（合計10枚以内）でまとめてください。パワーポイントの形式は自由です。

**２－１　研究目的の明確性****※1**

・提案する研究課題についての目的と背景やこの研究の最終的な成果がもたらす社会的インパクトについて記述してください。その際、SDGsのどの項目を解決するための研究なのかを、明確にしてください。

**２－２　新規性、先導性、優位性　※1**

・最近の技術水準や関連分野の研究開発状況を踏まえて、提案する課題が科学的意義に対する新規性・独創性が分かるように記述してください。

・技術水準が高く類似する研究成果が他方にも存在する場合、提案する研究課題の先導性・優位性が分かるように記述してください。

　**２－３　本研究期間中の達成目標、研究計画の妥当性　＊1**

　・本研究期間終了時に目標としている技術・成果について、具体的かつ定量的に記述してください。

・研究課題を細分化した中課題ごとに具体的な研究内容及びそれぞれ関係性について、明確化し、それが次にステップ（競争的資金獲得等）にどう繋げていくか記述してください。

・研究項目毎に研究者氏名、所属研究機関を記述してください。

　**２－４　研究成果の実用化・事業化、社会課題解決への期待　＊1**

・２－３の達成目標が、将来的な実用化や事業化、社会課題解決にどう繋がっていくかを、記述してください。

**２－５　農林水産業・食品産業への貢献　※1**

・研究目標が達成された場合に農林水産業・食品産業のロバスト化にどのように寄与する効果について記述してください。

・総合科学技術・イノベーション会議「科学技術基本計画」や農林水産省「農林水産研究基本計画」等に記載されている国の科学技術行政施策や「みどりの食料システム戦略」の推進に、どのように貢献するのか、具体的に記載してください。

**※1　本項目に記載した内容（パワーポイントのみ）は、採択後に公表する場合があります。**

**採択後、提案課題に関しては、ロバスト研究会等での発表を依頼があります。**

**３．次期ステージまでの道筋**

|  |
| --- |
| 研究ステージ毎の研究内容及び達成目標 |
| 既往の研究成果 | ※本研究を実施するに当たり、既往の研究成果（ロバスト公募等）を簡潔に記載してください |
| 「フードテック等を活用した」乳製品に関する微細構造解明プロジェクト | ※既往の研究成果に基づき、「フードテック等を活用した」乳製品に関する微細構造解明プロジェクトにおける研究内容と達成目標を簡潔に記載してください。 |
| 次期ステージ | 応募を想定している競争的研究資金「○○○○」※「フードテック等を活用した」乳製品に関する微細構造解明プロジェクトで達成する目標を踏まえて、次期ステージで実施する予定の研究内容と達成目標を簡潔に記載してください。 |

**４．【研究所要経費】**

|  |
| --- |
| 当該年度の所要経費（所属機関・氏名：　　） |
| 大項目 | 中項目 | 主な品名・仕様・数量等 | 金額（千円） |
| 物品費 | 設備備品費 |  |  |
| 消耗品費 |  |  |
| 計 |  |
| 人件費・謝金 | 人件費 |  |  |
| 謝金 |  |  |
| 計 |  |
| 旅　　費 | 旅　　費 |  |  |
| 計 |  |
| その他 | 外注費（雑役務費） |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |
| 光熱水料 |  |  |
| その他（諸経費） |  |  |
| 計 |  |
| 総額 | 合計 |  |

＊申請できる研究所要経費は、研究開発等の遂行に直接必要な経費、研究開発成果の取りまとめに必要な直接経費のみです。間接経費はありません。

＊学生に対する旅費は、修士以上のみ執行可能です。

**＊過去にコンソーシアム形成型に採択された研究チームは、上限70万円までとなります。**

|  |
| --- |
| 当該年度の分担者の所要経費（所属機関・氏名：　　） |
| 大項目 | 中項目 | 主な品名・仕様・数量等 | 金額（千円） |
| 物品費 | 設備備品費 |  |  |
| 消耗品費 |  |  |
| 計 |  |
| 人件費・謝金 | 人件費 |  |  |
| 謝金 |  |  |
| 計 |  |
| 旅　　費 | 旅　　費 |  |  |
| 計 |  |
| その他 | 外注費（雑役務費） |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |
| 光熱水料 |  |  |
| その他（諸経費） |  |  |
| 計 |  |
| 総額 | 合計 |  |

**５．【****主な研究論文、著書及び特許の取得】**

〈論文〉

「○○○に関する研究」、農林太郎、水産次郎、畜産三郎、○○学　会誌、1(1)、20-30(200○)

「Development of novel analysis method for ○○○○」農林太郎、 Gaikokujin A., 林業花子, Gaikokujin B.Journal of Agriculture,1　　(1) 20-30(200○)

 ※外国語論文であっても、日本人の共著者の氏名は日本語標記としてください。

〈著書〉

「○○の現状」、農林太郎、○○出版社（200○）

〈特許〉

「○○○の製造方法」、特願200○-○○○、出願200○年○月○日

※　本項目には、研究代表者と分担者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権（特許出願番号等）、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものをresearchmapからコピーする方法により、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください（代表者と分担者あわせて５件以内）。

・　雑誌の場合は、タイトル、著者名、学会誌名、巻（号）、ﾍﾟｰｼﾞ－ﾍﾟｰｼﾞ、発行年（西暦）

・　書籍の場合は、タイトル、著者名、出版社名、発行年（西暦）

・　特許の場合は、特許名、特許番号、取得又は出願年月日（西暦）の順に記載してください。

・　著者（共著者）に本人及び研究分担者が含まれる場合は名前にアンダーラインを付してください。